

塵劫記

塵劫記序

山城刈葛野郡嵯峨村人夏吉田光由  
頃者介或人扣予柴扉眉毛廝結於是  
乎自袖裏携四卷書來被需書名與序  
跋予披之觀之實算法靈樞也予問云  
是誰所作也光由荅云我自少時齊集  
法而諸家算法繁者芟之畧者詳之集  
而大成之我所述也

數卷在 卷而懷之可記勤矣予於算  
者不識六與七為什麼塞其責橫點頭  
者存三雖然不曾饒終弗獲默止付與  
毛先生毛先生突出曰夫算者自天地  
定位萬物流形以來其數及萬有一千  
五百二十零數其外更有刺限數人急  
數不暇縷數加之伏羲始畫八卦周公  
叙述九章陽數為奇陰數為陽老陽二十

五老陰二十五膺合五十數為大衍數  
既又起律呂七均法官數者法八十一  
商數者法七十二角數者法六十四倣  
數者法五十四羽數者法四十八變宮  
數者法四十二變倣數者法五十六舉  
算極數言之則有一十百千萬億兆京  
垓秭壤澣澗正載極萬七極曰恒河沙  
萬七恒可沙曰阿僧祇萬七可僧祇曰



那由他<sup>は</sup>七那由多<sup>は</sup>曰不可思議萬七  
 不可思議曰無量大數也舉小數言之  
 則有埃塵纖微忽絲毫釐分文兩斤舉  
 糧數言之則有粟圭撮力合外斗斛舉  
 田數言之則有忽絲毫釐分步畝及町  
 然矧算法者盡歸於黃帝時隸首作算  
 數而沒備六藝之一故名算藝者無不  
 備以故光由作為此書自此觀其書知

其人名禹無窮舉一明三為後人龜鑑  
 是以掌內識乾坤者必矣且為題其首  
 日之曰塵劫記蓋本塵劫來事絲毫不  
 隔之句莫謗予好維時寬永四年丁卯  
 秋八月日龜毛舜岳履祐ま光為之序



塵劫記卷之第一目錄

- 一 大寸此名の事
- 二 一丁のちちこ寸の名の事
- 三 一石より内小寸の名の事
- 四 田の名あすの事
- 五 ぬのの事
- 六 八条のわりは圖付くけさんの事
- 七 見一のまり乃圖を付くけ算の事
- 八 わけてはるるさんの事
- 九 米一カクハ回ひよりはるるを換の事

巻々第二

- 十 金指表あ人の事
  - 十一 世にありくいれ事
  - 十二 美利是れ事
  - 十三 きぬうりくひの事
  - 十四 くら舟のういれの事
  - 十五 少子のうんらんれ事
  - 十六 まう守の法回万物と樹目ほり事
- 巻々第三
- 十七 檢地の事

- 十八 知り物ぬの事
  - 十九 金指の懸りりくひ付物とをす穂の事
  - 二十 材木れ事
- 巻々第四
- 廿一 川おきんれ事
  - 廿二 美のふとんちりの事
  - 廿三 木のろりきとまきまうとめてほり事
  - 廿四 町ほりりの事
  - 廿五 南平法れ事
  - 廿六 洞法ほり事

第一 大うすのうれれ事

洞 <small>とほ</small>	埃 <small>あひ</small>	万 <small>まん</small>	一
正 <small>せい</small>	祈 <small>いのち</small>	億 <small>いふ</small>	十
載 <small>さい</small>	猿 <small>さる</small>	兆 <small>ちやう</small>	百
極 <small>ごく</small>	溝 <small>みぞ</small>	京 <small>きやう</small>	千

才二

一石より内此こく守るる

无量大教と云	不可思議と云	那由他と云	阿僧祇と云	恒河沙と云
万万不可思議と云	万万那由他と云	万万阿僧祇と云	万万恒河沙と云	万万恒河沙と云

兩	毫	兩
沙	絲	文
塵	忽	芥
埃	微	厘

才三

一石より内此こく守るる

椽	合	石
主	方	斗
粟	抄	升

才四

田のくす乃名の

一町	一畝	一垧	一畝	一畝
一畝	一畝	一畝	一畝	一畝



飛	行	陸六	壹一
一粒	天	洙七	貳二
盃	天	捌八	参三
藤	和	玖九	肆四
舟	束	拾十	伍五

九のけ亭

九のけ亭  
 ○一一の一 ○一二の二 ○一三の三  
 ○一四の四 ○一五の五 ○一六の六  
 ○一七の七 ○一八の八 ○一九の九  
 ●二〇の十 ○二一の十一 ○二二の十二  
 ○二三の十三 ○二四の十四 ○二五の十五  
 ○二六の十六 ○二七の十七 ○二八の十八  
 ●二九の十九 ○三〇の二十 ○三一の二十一  
 ○三二の二十二 ○三三の二十三 ○三四の二十四  
 ○三五の二十五 ○三六の二十六 ○三七の二十七  
 ○三八の二十八 ○三九の二十九 ○四〇の三十  
 北七

才六  
 八のけ亭  
 ●四四十六 ○四五廿  
 ○四十七 廿九 ○四八卅二  
 ●四五卅五 ○五六卅六  
 ○五十八 四十 ○五十九廿五  
 ●六十六卅六 ○六十七四十二  
 ○六十九 卅四  
 ●七七四十九 ○七八五十六  
 ●八八六十四 ○八九七十二  
 ○八九八十一

三刻圖

六 一 七 二 八 三 九 四 五

進 二天作五  
 二進二十

二六十二







五ツマリの〇五一 加一  
〇五二 加二

〇五三 加三  
〇五四 加四

六ツマリの  
〇五進の十と上

〇六一 加下四

〇六二 加十二

〇六三 作五

〇六四 加廿四

〇六五 加卅二

〇六進の十と上

七ツマリの

〇七一 加下三  
〇七二 加下六

〇七三 加十二  
〇七四 加十五

〇七五 加廿一  
〇七六 加廿四

〇七進の十と上

八ツマリの

〇八一 加下二  
〇八二 加下四

〇八三 加下六  
〇八四 作五

〇八五 加十二  
〇八六 加十四

〇八七 加十六  
〇八進の十と上

九ツマリの〇九一 加下一

〇九二 加下二

〇九三 加下三

〇九四 加下四

〇九五 加下五

〇九六 加下六

〇九七 加下七

〇九八 加下八

〇九進の十と上

**才七** 見一のまり比ま

〇見一才七作九一〇才七一倍一〇一進二十

これ八十一より十九の上よりわりの時入と

又百のうへのとも千の上より期も同かて

〇見二才七作二〇才七一倍二〇八さん二ツ刻じ

是ハ廿一より廿九の半に刻時入て又百のれ

上のく二子乃上れそ二万の上半刻も同し

〇見三才七作九三〇才七一倍三〇八さん三ツ刻じ

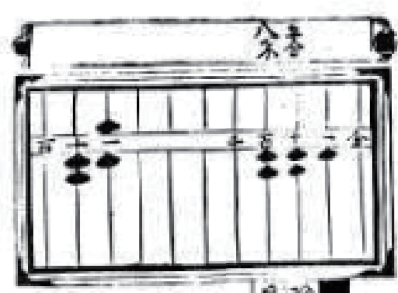
廿一より廿九の半も又三百のうへ人乃とも

又のりも上の上れたよまのりも同か





見二の圖

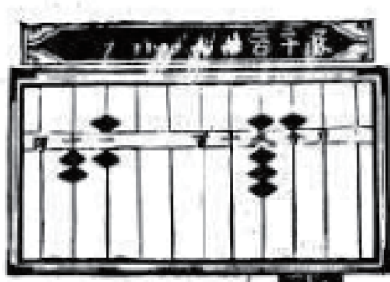


見二の圖  
見二の圖は九二  
倍二

見二の圖  
見二の圖は九二  
倍二

あるひの  
二百七拾五とこれの  
八百七拾五とこれの  
八百七拾五とこれの

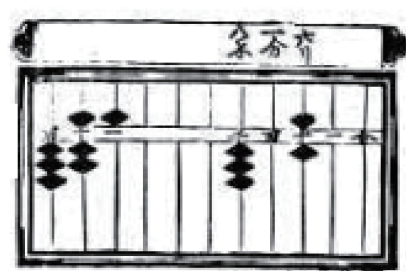
見一の圖



見一の圖  
見一の圖は九二  
倍二

あるひの  
二百七拾五とこれの  
八百七拾五とこれの  
八百七拾五とこれの

見三の圖

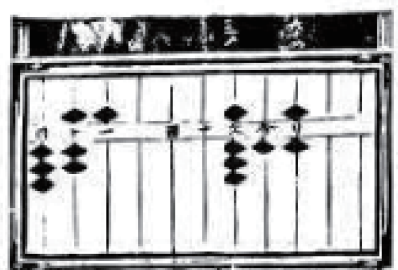


見三の圖  
見三の圖は九二  
倍二

見三の圖  
見三の圖は九二  
倍二

あるひの  
二百七拾五とこれの  
八百七拾五とこれの  
八百七拾五とこれの

見一の圖

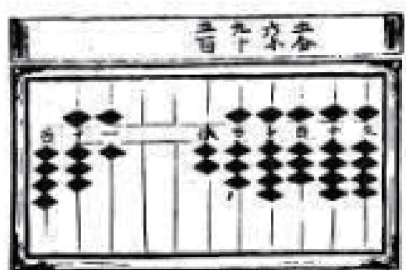


見一の圖  
見一の圖は九二  
倍二

あるひの  
二百七拾五とこれの  
八百七拾五とこれの  
八百七拾五とこれの



見四之圖

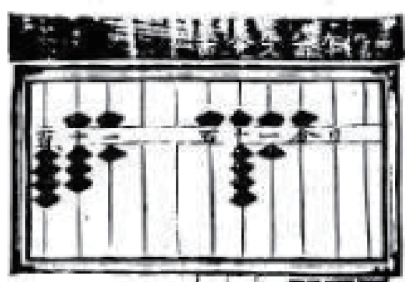


五の位 見四や拾九也  
 の位 拾一倍也

あつひの三百八十九度八角九分九厘  
 四百八拾六厘四毛

六六拾六引 六六拾四  
 六五拾四引 六六拾六引  
 六五拾四引 六六拾六引  
 六五拾四引 六六拾六引  
 六五拾四引 六六拾六引  
 六五拾四引 六六拾六引

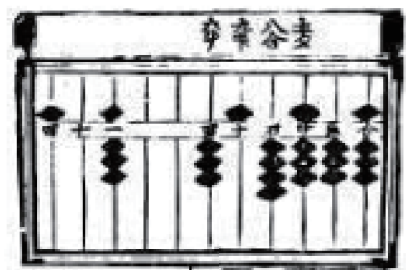
ひの位



あつひの三百八十九度八角九分九厘  
 四百八拾六厘四毛

五の位 見四や拾九也  
 の位 拾一倍也

見五之圖

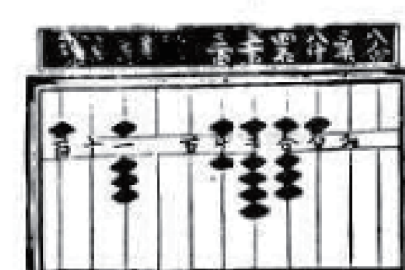


五の位 見五や拾五也  
 の位 拾一倍也

あつひの三百八十九度八角九分九厘  
 四百八拾六厘四毛

六六拾六引 六六拾四  
 六五拾四引 六六拾六引  
 六五拾四引 六六拾六引  
 六五拾四引 六六拾六引  
 六五拾四引 六六拾六引  
 六五拾四引 六六拾六引

ひの位

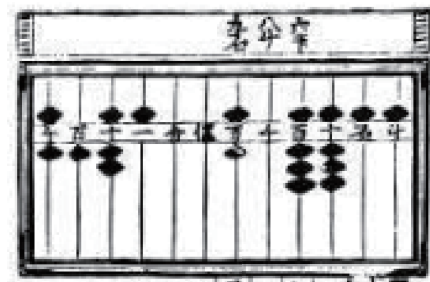


あつひの三百八十九度八角九分九厘  
 四百八拾六厘四毛

五の位 見五や拾五也  
 の位 拾一倍也



見六の圖



六の倍  
見六の倍は六  
一の倍六

六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六

あつひの米六万八千八百八拾五石七斗  
 六千七百七拾五石七斗  
 九石八千九百九拾五石七斗

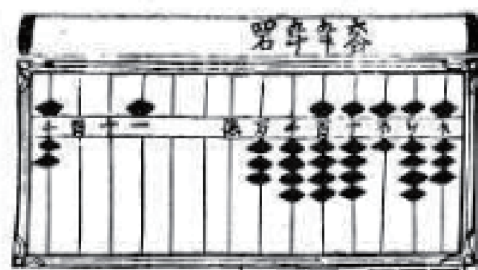
見六の圖



六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六の倍	六	六	六	六	六	六	六	六	六

あつひの米九石八千六百八拾  
 六千七百七拾五石七斗  
 九石八千九百九拾五石七斗

見七の圖

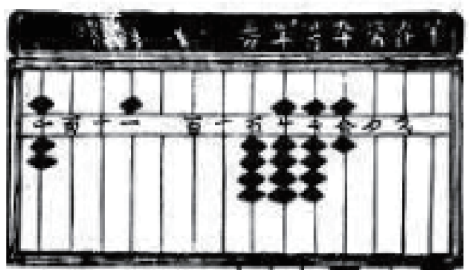


七の倍  
見七の倍は七  
一の倍七

七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七

あつひの米七万八千八百八拾五石七斗  
 七千七百七拾五石七斗  
 九石八千九百九拾五石七斗

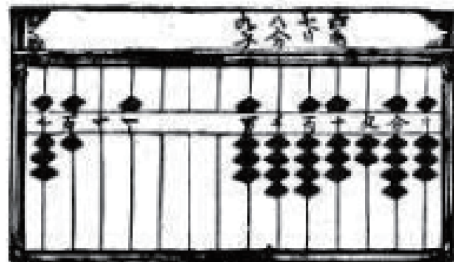
見七の圖



七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七
七の倍	七	七	七	七	七	七	七	七	七

あつひの米九石八千六百八拾  
 七千七百七拾五石七斗  
 九石八千九百九拾五石七斗

見八之圖

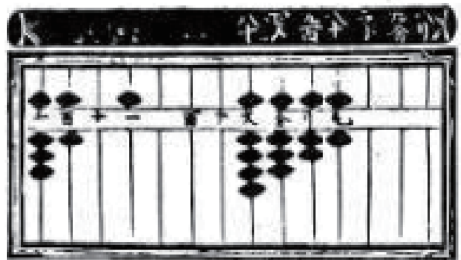


おののけし 見八の作九八  
 以九の倍 功一倍八

五十四	六十八	七十八	八十八	九十八
六十四	七十八	八十八	九十八	一〇八
七十四	八十八	九十八	一〇八	一一八
八十四	九十八	一〇八	一一八	一二八
九十四	一〇八	一一八	一二八	一三八

あつひの 八拾五五五の倍  
 八千五百五の倍  
 九千八百七の倍

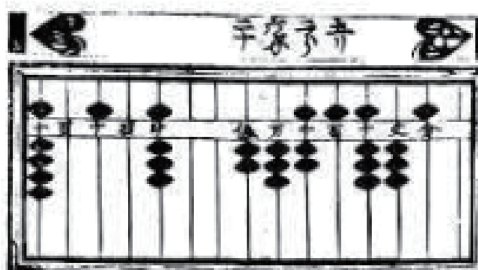
ひげん



あつひの 八拾五五五の倍  
 八千五百五の倍  
 九千八百七の倍

五十四	六十八	七十八	八十八	九十八
六十四	七十八	八十八	九十八	一〇八
七十四	八十八	九十八	一〇八	一一八
八十四	九十八	一〇八	一一八	一二八
九十四	一〇八	一一八	一二八	一三八

見九之圖

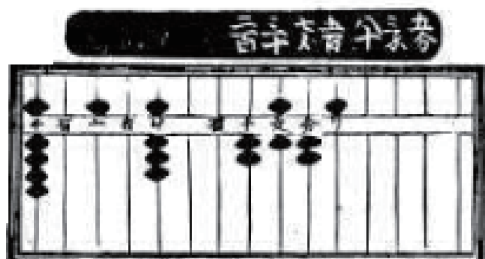


おののけし 見九の作九九  
 以九の倍 功一倍九

五十四	六十八	七十八	八十八	九十八
六十四	七十八	八十八	九十八	一〇八
七十四	八十八	九十八	一〇八	一一八
八十四	九十八	一〇八	一一八	一二八
九十四	一〇八	一一八	一二八	一三八

あつひの 九拾七五五の倍  
 九千七五五の倍  
 九千九百七の倍

ひげん



あつひの 九拾七五五の倍  
 九千七五五の倍  
 九千九百七の倍

五十四	六十八	七十八	八十八	九十八
六十四	七十八	八十八	九十八	一〇八
七十四	八十八	九十八	一〇八	一一八
八十四	九十八	一〇八	一一八	一二八
九十四	一〇八	一一八	一二八	一三八



才八

うけてまはれるさうんのま

二とくくはら

四とくくはら

五とくくはら

八とくくはら

才九

米うりくはし

一米百廿拾二石の時但右 右は或終末のつ  
右とこめは流るふれくそとせう時

○稻三人 或百の終末をさうりかるといふ  
は左先右は右場廿六石と右と垂右は米百廿拾  
三石と垂右と右を右に流すは三英或百  
五拾石をさうりかるといふ

一米三英或百五十九石の米さうり時米三石廿六石  
さうり右と流す米をさうりかるといふ

○米百廿拾三石の米さうり

法は左にお場廿六石と垂右は三英或百  
石の米をさうりかるといふ

一米三英七拾石の時但右 米三石廿六石の時  
右のついでに米をさうりかるといふ

○米百拾石の米さうりかるといふ  
は左先右にお場廿六石と垂右は米百拾石  
と垂右は右の終末をさうりかるといふ

一米百拾六石の米さうり時米三石廿六石の時  
右のついでに米をさうりかるといふ

○稻三英七拾石の米さうりかるといふ

法は左にお場廿六石の米と垂右は米百拾石の米  
と垂右は右の終末をさうりかるといふ

○右場と右にお場廿六石の米さうりかるといふ  
米をさうりかるといふ

○こめと米を流しては右のついでに米をさうりかるといふ  
と垂右は右の終末をさうりかるといふ

一米七石の米をさうりかるといふ 右は或終末を五石  
四拾石の米をさうりかるといふ

○稻百拾石の米さうりかるといふ

法は先米の言を右に垂米と右に垂米にて右に  
わしをよしの式拾り身とさるる入り

根拾りよ米何れをよとる時

○三斗五升七合三タム飯といふ

法は先米の言を米の言をわしを三斗五升七合  
きタとよれし右にきんとあはじ

一 米を右に米も代世の米四斗より一斗付に右に  
ちふわくころを同付

○一石五斗五升よあつり

法は世の米四斗と一石四斗にて刻し世五斗と飯

又拾り右にちふわくころをよかハクして米を刻し

一 四斗儀の千六百四拾儀の所石よまらしてちふ  
わくころを同付

○三千四百の拾儀よかといふ

法は先米の四斗と垂米よの千六百四拾儀と垂  
四斗を右にわくれい千六百五拾儀とさるる

一 三千四百の千六百を時よの千を四斗儀より  
ちてハ何れをよとる時

○三千四百四拾儀よかといふ

法は先米の四斗と垂米よの千六百の十六石と垂

四斗にて右をよしの式拾り身とさるる入り

一 四斗表四斗三百式拾石あり 右に儀わし表よ  
ちてろん石よ飯を同付

○三千四百五拾石よ飯といふ

法は先米の四斗を二斗合て四斗と垂米よの千  
三百式拾石と垂米の四斗を右へくくれい三斗  
四斗五十六石よりか

一 三千四百五十六石よ 是を四斗表此石よして  
ちふわくころを同付

○四斗三斗式拾石よ飯といふ

法は先米の四斗と垂米よの千三百式拾石と垂  
四斗にて右を刻し四斗三百式拾石とさるる

一 米七石わけき時 七斗米四斗 右大豆五斗式  
かころしてまのろふわくころを同付

○大豆九石よかといふ

法は七石五斗よの千二百をわくれい九石よ刻し

一 大豆九石よ 米五斗 右大豆一斗二升よへ此時  
右に米よかふわくころを同付

○米七石の千よ飯といふ

法は先米の九石を一斗二升にて刻し七石五斗よ飯



一このめ七石五斗の時 きの一斗付米の米替の時  
右に米一斗大豆何れとなく同付

○大豆の石三斗七升五合はぬとよ

法は米七石五斗を以てしてはれはるをかり

一大豆の石三斗七升五合を時よめ一斗付米の米  
何れの付右にまめ米何れとなく同付

○米七石五斗よりかるとよ

法は石三斗七升の米を以てしてはれはるをかり

一三斗二升五合八分百四拾倍の時四斗八升五合  
を以てしてはれはるをかり

○五千七百五拾ひさうはぬとよ

法は先四斗の米を三斗二升にしてはれはる一五と  
からは一五を右にまめ八千六百四拾倍とよ

一五斗を右にまめ八千七百六拾倍とよ

一銀百六拾目よてはぬとよ

上の米 二石付 銀世は各替のさうげに

中代米 三石付 銀世は各替のさうげに

下の米 四石付 銀世は各替のさうげに

めは移してある付右に百六拾目よて上中下の  
米を替目とよ

米を替目とよ

米を替目とよ

米を替目とよ

米を替目とよ

○上の米一石七斗五升の合を三斗四升  
は代銀四斗九升七合

○中の米一石七斗五升の合を三斗四升  
は代銀四斗九升七合

○下の米一石七斗五升の合を三斗四升  
は代銀四斗九升七合

は代銀四斗九升七合

法は先上中下のお替の銀三口合の倍を各あり

一の倍を各あり

ひさりの倍を各あり

米一石七斗五升の合を三斗四升とよ

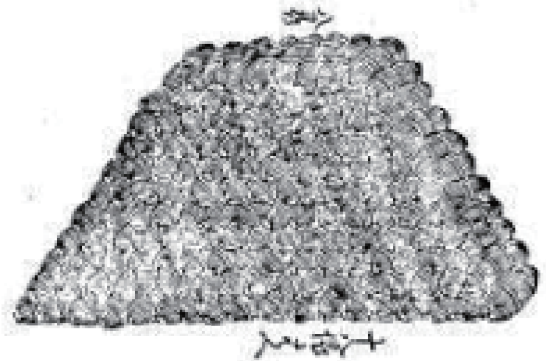
○は倍銀九拾倍



法は先上中下のお替の銀三口合の倍を各あり  
一の倍を各あり  
ひさりの倍を各あり  
米一石七斗五升の合を三斗四升とよ



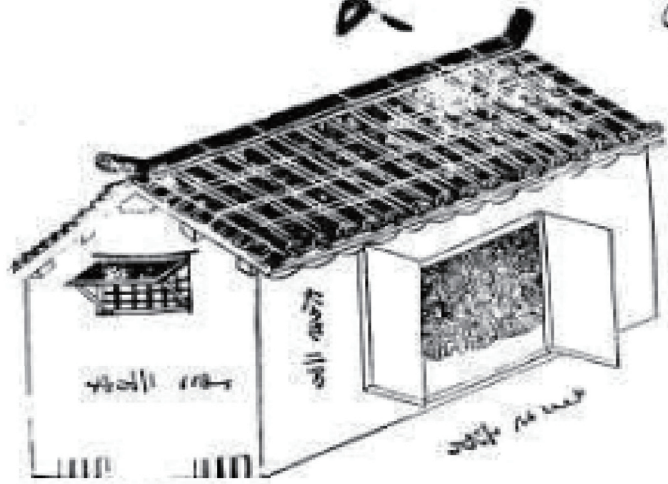
○百四拾三徳あり



けりきりたれとすたひまきどひのりみきりきりきり  
 さてたのすりきりう人のく人のまきりきりきり  
 けりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
 けりきりきり  
 又たのすりきりきりきりきりきりきりきりきり  
 けりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
 けりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
 けりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
 けりきりきりきりきりきりきりきりきりきり

一麓よなまきり此のけりきりきりきり

○千八拾石の



けりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
 けりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
 又一坪よ備世の石入積りて五坪小世方を  
 けりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
 右のけりきりきりきりきりきりきりきりきり  
 けりきりきりきりきりきりきりきりきりきり

塵劫記卷之第二目錄

- 十 全箱あかぐれ一書
- 十一 せまうりくひの一書
- 十二 兼利足代一書
- 十三 きぬうりくひの一書
- 十四 くら舟のくりひ抽れ一書
- 十五 少子のうんちんの一書
- 十六 きん寸の法目五抽れ一書

第十一 全箱あかぐれの一書

- 一 丁箱のろ七拾の糸を内海まきまといふ内二わり引いてくるとまきうりハアキこれ箱一灰吹うふれくたさうせきふ
- 灰吹七百の拾目よるつとよめ
- はよ五百七十の糸よハとまきこれ七百の千目とまのへ
- 一 又灰吹七百の拾目よるつとよめ
- まきまといふ内海まきまといふ内二わり
- 丁箱のろ七拾の糸を内海まきまといふ

- はよりといふまき七百八十目とハ引いてまねの
- 丁箱九百七拾の糸と知へし右のまんとおぼせ
- 一 丁箱のろ七拾の糸を内海まきまといふ内二わり引いてくるとまきうりハアキこれ箱一灰吹うふれくたさうせきふ
- 灰吹七百の拾目よるつとよめ
- はよ五百七十の糸よハとまきこれ七百の千目とまのへ
- 一 灰吹七百の拾目よるつとよめ
- まきまといふ内海まきまといふ内二わり
- 丁箱のろ七拾の糸を内海まきまといふ

○ 丁箱のろ七拾の糸を内海まきまといふ

- はよといふまき七百八十目とハ引いてまねの
- 丁箱九百七拾の糸と知へし右のまんとおぼせ
- 一 丁箱のろ七拾の糸を内海まきまといふ内二わり引いてくるとまきうりハアキこれ箱一灰吹うふれくたさうせきふ
- 灰吹七百の拾目よるつとよめ
- はよ五百七十の糸よハとまきこれ七百の千目とまのへ
- 一 又灰吹七百の拾目よるつとよめ
- まきまといふ内海まきまといふ内二わり
- 丁箱のろ七拾の糸を内海まきまといふ

○五分のきうちを九七とかくふさん

うやとを一下三てわりのり

○三分まーなを一下三とかけ

内を九七てわのゆしこうきけ

一内二わり五合といふ時ハ在十と五十の内を

二五の時分て七五なりたる七五にてらんわり

いといふ時は七五とくらり

又らんよりまといふ時ハ七五にてわのし

たと二わり六合といふ時なりといふこと

十二六にて目くらり

又ま守時十二六とくらりこ 必ね回あうり

○二わりなりうちは八なりてかくふさん

うやと十二てわのゆしといふわり

○二よりまーなを十二てくらふさ

うちを八なりてわりのゆしこうきけ

一金二拾五系るとき 辨金のお堀五百廿の系

かへよまて丁銀よくらるとき 右金一丁銀

柄れくま回時なり

○丁銀三百目よりつらといふ

序の法より判金二般のちの四十四系あり

お堀五百廿拾の系と四十四よりわゆる金五系か  
拾五系つよりつこれと金廿五系よりつこれ  
銀三百目とつらなり

序初ぬぬハハめけよむ之是ハまといよりて

あまぬさん用るる方仕をようこあり

金七系四つかりを判金のお堀五百目替の時

五百目とて拾四て刻ハ金七系舟銀十系か  
六り三系六系三系つあつるこ是よみよこの

金七系中よりつらなり

○銀の拾五系もぬといふ

めげよま入てあま守まてあーきさんつら

一金七系ゆかりの時とんのお堀五百目つへよ

して右金よ銀つふれくま回時なり

○銀の拾五系もぬといふ

法は金七系四つかりはお堀五百目とくられて

三十四よりつ是と四十四てわゆる八十の系と

つらなり一はまきさんてけ必ね方よりつら

一銀の拾五系もときよ辨金のお堀五百目よま

右に金系ふれくま回時なり

○金七系四分つりはぬといふ



法より千の中より四十四とくくりし三七四より  
 こりておぼし五目にしてまれの金とあるへ  
 一 金三百拾七番よりありあつと判金とくへる時  
 内九拾六番よりある 判一銀百廿の番あり  
 内百廿の番よりある 同く銀百四拾二番あり  
 内八拾二番よりありハ同く銀百四拾七番あり  
 右より二つより判金よりあるへとくへるより  
 ○ 判金七拾六番よりありとあるへ  
 法より九拾六番よりと三十の番よりわける二番  
 五番よりある○又百廿八番六番と四拾七番より

期付三銀三あるより○又八十番より二つ五りを  
 四拾七番よりとるよりとあるへ七番よりあり  
 三口合七拾六あるよりとあるへ  
 一 小判二あるよりあるより小判一あるより銀六拾め  
 あるへはね備よりとるより右よりとるより銀あり  
 ありとくへるより  
 ○ 銀七拾五ありとあるへ  
 法より二五一分と右よりをき一分と四よりとるへ  
 二五二五よりあるへ小判の相場六十めとくへる  
 右より小判より銀七拾五ありとあるへ

- 一 金四十四あり ○ 一二 加下の十二
- 二四 加下北廿四 ○ 三六 加下乃廿六
- 四九 加下の令四 ○ 達四十四進の二十
- 一 銀四十三あり ○ 一二 加下の十四
- 二四 加下の廿八 ○ 三六 加下の十二
- 四九 加下北十三 ○ 達四十三進の二十
- 一 小一介十六あり
- 一六二五 ○ 二一二五 ○ 三一八七五
- 四五二 ○ 五三一二五 ○ 六三七五
- 七四三七五 ○ 八作五 ○ 九五六二五

**銀十**

一 五人より銀して拾六あるよりとあるへ此時よりあるへ  
 せはるよりあるへとあるへとあるへ  
 ○ 法より六十八ありとあるへとあるへ  
 右より十六ありとあるへとあるへ  
 一 小判七十あるよりあるより小判六拾六あり  
 右より銀七拾五ありとあるへとあるへ  
 ○ 法より六十八ありとあるへとあるへ  
 法より銀七拾五ありとあるへとあるへ

右のつひにせよれは目方一斗入六百より  
 四六廿四と加入し時で入六百より  
 一後四六六の積四又五時さうば十六より  
 みまじれせよのつひはうふれくたむけ

○法七拾五不ぬと  
 法一四六六八十四と右まで六百  
 四六廿四より四六六と四四の百六十  
 して時七拾五不ぬと右は十六

時とてつひにせよの移るの時七拾五  
 一法七拾五不ぬと右は十六  
 十の各の附布は七拾五と右は十六  
 ○法七拾五不ぬと  
 法一四六六八十四と右まで六百  
 四六廿四より四六六と四四の百六十  
 して時七拾五不ぬと右は十六

○後めいおぼてつひをわりのつひ  
 百よりちハ四かけてり

一四人三百二十四又五時一法八拾五  
 みまじれせよのつひはうふれくたむけ

○法七拾七不ぬと  
 法一四六六八十四と右まで六百  
 四六廿四より四六六と四四の百六十  
 して時七拾五不ぬと右は十六

第十一 ちり利是

一法七拾七不ぬと右は十六  
 この法は利せよのつひはうふれくたむけ

○法七拾七不ぬと  
 法一四六六八十四と右まで六百  
 四六廿四より四六六と四四の百六十  
 して時七拾五不ぬと右は十六

○法七拾七不ぬと  
 法一四六六八十四と右まで六百  
 四六廿四より四六六と四四の百六十  
 して時七拾五不ぬと右は十六



右二百五十五石より右より逓老より二りり五分と  
至て十を加へり時十二五と成これよりして右の  
米百五拾五石とせられんか米とあるなり

一 年給三百五拾石と 一ヶ月より二ヶ月と  
時ハ年給百石 二ヶ月の頃より右に給  
より子よりして十二月分は年給倍なりと聞

○ 年給倍なり世にありぬといふ

は右の三百五拾石より逓老とせられ七石より  
なり七石より十二月とせられは年給倍なりと  
是へ三百五拾石より入て四百世にありと

○ 一ヶ月より二ヶ月より十二月の年給倍なり

混合四百世にありと右に年給倍なりと聞

○ 年給三百の年給倍なりといふ

は右の四百世にありと逓老より二ヶ月より十二月  
の頃ハ年給倍なりとせられより百石より二ヶ月  
の頃ハ年給倍なりとせられ右の年給倍なりと  
ありとせられ年給倍なりとせられ

一 米の年三百四拾石より二ヶ月より六分  
まで年給倍なりとせられと聞

○ 四百世にありとせられといふ

は右の三百五拾石より右より逓老より二りり六分と  
をより入る十とせられ時十二六と成これより  
右の年給四十石より入るは四百三拾石に  
ありとせられ

一 米年給倍なりとせられ四石七斗と二りり六分  
なりとせられ

○ 年三百四拾石より入るといふ

は右の四百世にあり七斗と十二六とせられ  
年給三百四拾石とせられ

一 米三百四拾石より入るとせられ二りり六分

まで年給倍なりといふ

○ 年給倍なりとせられといふ

は右の年給倍なりとせられ二六とせられ  
八十石七斗とせられ

米年給倍なりとせられ四百世にあり七斗ありとせられ  
二りり六分の年給倍なりとせられ

○ 年給倍なりとせられといふ

は右の四百世にあり七斗より二りり六分とせられ  
一一三下二と成これより十二六分とせられ

利の年給倍なりとせられ

一 中米八十七石を置き二わりして三年のつれ  
中利せよふれくたしむう時

○百五拾石三斗三升六合よかるといふ

法一十二と右に五八十七石を十二と三とい  
ふれハ中利三年の米とあつへし

一 米中利せり百四石三斗三升六合の時  
二わりして三年のつれ中利せよふれくたしむう

○中米八十七石をよかるといふ

法一 米百の倍石三斗三升六合と右に置き  
十二にて三といふれハ中米とあつへし

一 一 米中三拾石を置時 三年のつれ  
りめの年ハ五わり 二年めを四わり五合  
三年目又三わり 右三年のつれ中利合てあつへ  
しむうといふ

○中利九拾八石九斗六升六合めよふれといふ  
法一 米百の倍石三斗三升六合と右に置き  
五にて又十三といふれハ中米とあつへし  
めよふれといふ

一 倍米三年のつれ中利九拾八石九斗六升六合めよ  
ふ時 初年五わり 二年目又三わり五合と

三年目ハ三わり 九十八石九斗六升六合めよ  
の内 ○右を利せりて中利せよふれくたしむう

○中米百をよかるといふ

法一 九拾八石九斗六升六合めよと右に置き  
三年目の利三わり中し右に五又十とくたしむう時  
十三とたりとれりて右に九拾八石九斗六升  
六合を日る時七拾石三斗三升六合めよといふ  
又これと十四五合て日れハ五十二石九斗六升  
六合又十五合て日れハ三拾五石りるあつへ  
しむう



きぬりくひ乃し

一 きぬりくひ乃しの夫尺寸中しよあふん大工の  
つり一尺二寸をわかくはて一尺といふ

一 ひとめん一丈二尺代換のあつりは二丈め  
は付一尺を倍あつりくたしむうといふ

○二つツよあつりといふ

法一 由米と右に五五五て割時二つと三つと  
又の糸一四をわけても二合とあつり

一 ひとめんは五寸あり一丈二尺五寸ありといふ  
二丈五寸と右に五寸の幅あつりといふ



○まゑ七尺八寸

法一ノ尺八寸は五尺とくくは四二五とナリ  
これと二尺の尺にてはれはまゑ七尺とくくは  
又四二五ノ一四とくくはまゑ七尺とナリ  
一尺五寸とくくは四寸八分一厘ノ尺ありて  
まゑ七尺二寸五分あり右の法一ノ尺八寸ありて  
れくくは七尺とくくは一尺

○一丈六尺一尺とくくは

法一ノ尺八寸と右ノ五尺ありて割付六四とナ  
れ一丈七尺二寸五分あり一丈六尺とくくは

又六四と四とてわりて一丈六尺とくくは

一きぬ一丈八寸とくくは三丈八尺とくくは  
代世系のきぬ用とて一丈八尺の代糸をうふ  
れくくは七尺とくくは一尺

○糸の糸を二つわりをとり

法一ノ尺八寸とくくは七尺とくくは  
世系とくくは八五四とくくは二尺八寸とくくは  
これ八十九とくくは二つわりをとり

一右ノ糸を二つわりをとりて  
何れノ糸と割付一

○一丈八尺六寸とくくは六尺とくくは

法一ノ尺八寸とくくは三丈八尺とくくは五尺あり  
これと世目にてわ分付一丈八尺六寸とくくは六尺と  
きつあり一右のわりやして一丈八尺六寸と  
一ノ寸の厚さもくくは物にまきもくくは  
くくは物にまきもくくは物にまきもくくは  
あつひ三丈八尺とあり又ハ三丈二尺とあり  
さんたまぬと用分ては倍わり又倍とありて  
さん用を倍とくくは七尺とくくは七尺とくくは  
ちろとて一巻の代糸をわりはくくは

舟十四 くら舟にくくは物の一

一三人お合せてまゑくくは物の一とくくは  
一人の船ハ 五拾四人の目録  
一人の船ハ 四十二人三つめあり  
一人の船ハ 四拾二隻の目録  
三人の船三口合而六拾隻目録

クイりの目録

一らんきん 四百の船あり  
一らんきん 七十の船あり  
一まき物の 二百の船あり



一いつく 二千四百五十時

右でこれ分三人して百六拾莖目よりついでに  
これ三人のもともついでついでついでついで  
四つを一人おの分めんくまよけて何れ  
ついでついでついで

○報六拾四入八百目の分よ

- 一一人多 百一きん十五
- 一一人多 廿八行十四あ
- 一まさき抽い 百拾三巻一丈五尺二寸
- 一系 三千四百二行

○派の拾二黄三首目此めんり

- 一一人多 三千一竹亦八あ三系
- 一沈奥 廿二行一巻わあま系
- 一巻抽 九拾一巻一丈九尺九寸五分
- 一系 二千七百四拾五行百拾拾目

○派四拾二黄九百目の分り

- 一人多 六拾七行一あま系
- 一人多 十八きん廿あ三系
- 一まさき抽 七拾五まさき二尺八寸五分
- 一いつく 二千四百四十二行四十目

ほり一人らん五拾五きんみもよをきて  
一人のりくも六十入の百目とひりり  
よきてこれを右に或百五拾行りあられ  
一六二とわろと三人の中派の百六拾莖目  
はして一六二をわれ一人多百一廿二五とついで  
二五とついでよきれよよよよ一廿のあり  
百六拾目あつこれを二五りりりりこれと  
百一廿四十目とわろ又一あつよよ四あつと  
四十目とわろりしてこれ百一廿十あつと  
これ一人おこれらんやあつへ

○又おりの二人へのらんらんも右のわりやうと  
ゆかにてまれりりり

○又らんりののりもいつくをわろらんらん  
わりとついであつてまれりりり

○又まさき抽い或百り巻を右りよをきて右に又  
六拾の入り有めをきてこれのオクまきわりの  
うれは一八一四四とついでと三人のうれは  
百六拾莖めて一八一四四とついで百十三巻四と  
かつ四とついでまれぬいりりりり  
かかるとわろりよを右に四ふれりりりり

一丈五尺二寸とありあり びて二人はわりも  
は びつむちやとありあり

オナカ

あひれうんらんのみ

舟一舟うに米型首の格石つとてつづつうへ飯を  
はく舟時うん焚百石存するつと或百五拾石の  
内とてさうの舟運ちん米うふれくわと舟時

○運道後右名三斗の米のつとさう四斗といひの  
はよ二百五拾石と右よをきして七石とうこれに  
一七五より舟又右よ百七石と運てこれに舟  
右よ一七五をより格石名三斗の米のつとさう  
はよとありあり

一又運道も米のつとさうとありあり

舟米りりわとさうふれくわとありあり

○或百廿三石名三斗の米のつとさう六斗といひ  
はよ二百五拾石と右よをきして七石と右よ七石あり  
より舟中米二百廿三石名三斗の米のつとさう  
はよとありあり

一米りいはいつうへ飯せ下付船格石を入或百目を  
又よとんあははつり船六斗八百目とさう時よ  
船二口合拾八斗目あり  
米のつとさうは拾石存或ち四拾石あり  
運ちん米拾石存り舟つとさう

米りいやし右のつとさういぬ格め入  
右よ拾八斗目はつとさうんらんつとさういとさうとあり  
米りふれくつとさうやとさうあり

○米七拾石名四斗はつとさうといひ  
はよとさうと或百四拾二斗よりうんらんつとさうを  
とさうの時よ或百の格目よりつとさうといひとあり  
はよとさうと右より拾八斗目と運てはつとさうの格目  
をよりつとさうと拾七斗の格目より飯と右の  
或百五拾目にて右とより七斗拾石名四斗と  
ありあり



又よき人此處を流しり箱六張り百目の布へも  
 この方ふわくわし〜してよきそ〜測り〜  
 ○ 或百七拾石の字をみも〜り〜懸〜これ〜  
 六黄八百目を〜り〜四八七一五二〜り〜なりと  
 これを箱十八黄目〜して〜わ〜り〜ゆ〜七拾石の字  
 由來ゆ〜と〜る〜ゆ〜

オ十一

ま〜の法はま〜付百他〜榊目の積あり  
 中〜付〜糸判きま〜れ積にして一合す〜り〜の  
 耳〜ま〜す〜の寸法わり付懸〜り

○ 一合五方  
 ひろさき 二寸六分  
 うちさき 二寸五分三厘七毛



○ 二合ま〜す  
 ひろさき 二寸七分  
 うちさき 二寸五分七厘七毛

○ 二合五方  
 ひろさき 二寸九厘  
 うちさき 一寸六分九厘七毛

○ 三合ま〜す  
 ひろさき 三寸二分一厘  
 うちさき 一寸八分八厘七毛

○ 三合五方  
 ひろさき 三寸四分五厘  
 うちさき 一寸九分六毛

○ 四合ま〜す  
 ひろさき 三寸六分一厘  
 うちさき 一寸二分九厘

○ 四合五方  
 ひろさき 三寸七分二厘  
 うちさき 一寸四分五厘

○ 五合ま〜す  
 ひろさき 三寸八分五厘  
 うちさき 二寸七分五厘七毛

○ 五合五方  
 ひろさき 四寸一厘七毛  
 うちさき 二寸二分一厘

○ 六合ま〜す  
 ひろさき 四寸一分二厘  
 うちさき 二寸二分九厘

○ 六合五方  
 ひろさき 四寸二分四厘  
 うちさき 二寸三分四厘七毛

○ 七合ま〜す  
 ひろさき 四寸三分五厘  
 うちさき 二寸三分九厘七毛



○七合五匁  
ひろき 四寸七分五厘  
うすき 二寸四分九厘

○八合五匁  
ひろき 四寸七分五厘  
うすき 二寸四分九厘

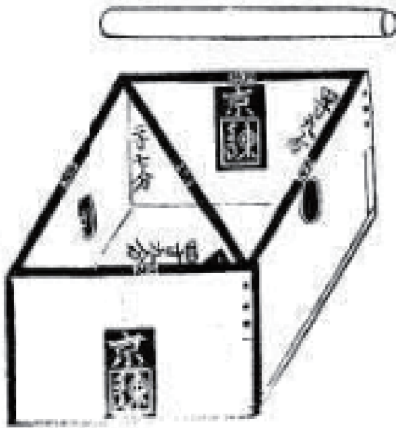
○九合五匁  
ひろき 四寸七分五厘  
うすき 二寸四分九厘

○一合五匁  
ひろき 四寸七分五厘  
うすき 二寸四分九厘

○二合五匁  
ひろき 四寸七分五厘  
うすき 二寸四分九厘

○七合五匁

ひろき 四寸七分五厘  
うすき 二寸四分九厘



○八合五匁  
ひろき 四寸七分五厘  
うすき 二寸四分九厘

○九合五匁  
ひろき 四寸七分五厘  
うすき 二寸四分九厘

○一合五匁  
ひろき 四寸七分五厘  
うすき 二寸四分九厘

○二合五匁  
ひろき 四寸七分五厘  
うすき 二寸四分九厘

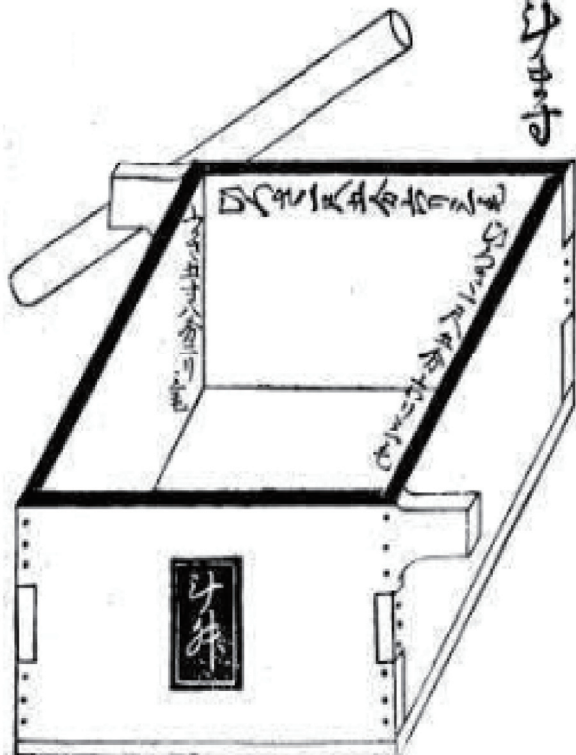
○三合五匁  
ひろき 四寸七分五厘  
うすき 二寸四分九厘

○四合五匁  
ひろき 四寸七分五厘  
うすき 二寸四分九厘

○五合五匁  
ひろき 四寸七分五厘  
うすき 二寸四分九厘

○六合五匁  
ひろき 四寸七分五厘  
うすき 二寸四分九厘

○七合五匁



○ 沙桶（さびき）



斗六升

一回むし一辨の法は

○ 一合ます

ひろき 二寸三分二リ  
 少き 一寸七分六リ



○ 二合ます

ひろき 二寸九分二リ  
 少き 一寸四分六リ

○ 三合ます

ひろき 三寸三分四リ  
 少き 一寸七分七リ

○ 四合ます

ひろき 三寸六分八リ  
 少き 一寸四分四リ

○ 五合ます

ひろき 三寸九分六リ  
 少き 一寸九分八リ

○ 六合ます

ひろき 四寸二分一リ  
 少き 二寸一分六リ

○ 七合ます

ひろき 四寸七分三リ  
 少き 二寸二分一リ

○ 八合ます

ひろき 四寸六分三リ  
 少き 二寸三分一リ

○ 九合ます

ひろき 四寸八分二リ  
 少き 二寸四分一リ

○ 一斗ます

ひろき 五寸  
 少き 二寸五分

○ 斗桶

ひろき 八寸九分四リ九毛  
 少き 四寸二分七リ九毛

○ 斗

ひろき 一尺七分七リ二毛  
 少き 五寸三分四リ六毛

○ のま



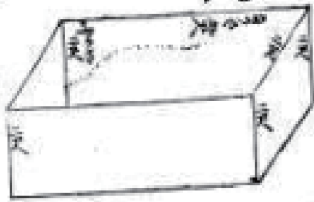
○ のま 辨て二斗 或第一合ハタ  
 ○ のま 斗て二斗 二斗七合ハタ

はり上のすのりわりーと下のすのりー  
 わりーとありあて二尺四寸ありこれとニツふ  
 わり一尺二寸と毎これを左右よ對しこれと  
 一四四とあるこれより七寸とくくは時り  
 一下下八とありありは四き法七九をくこれと  
 七の六三二と成法と素練の法六四八二七と  
 日の時り一斗ニ米を合三タとある也  
 一又同じり一斗をくくは時を右七の六三二  
 これより十六をくくは一斗ニ米を合三タと  
 ある也

右より大くく小懸時よりあはり垂ろり  
 けまよりよりなとすりりる物いあんもこれ  
 衆のよきやうにしてはまこり一斗ひまかり  
 中さんんは信をくくはあり

○いま邦て二名二斗入

○古ま守て二名二斗入



はよはの尺一横二尺をくくは十坪とある也

す二尺とわくは廿坪と毎あり又まん御の法  
 六四八二七て右廿坪を日れは二名二斗め  
 是タ也とある也  
 又廿坪り十六とくくは三石二斗とある也  
 又廿坪と六二五とわりてもとありあはり  
 一ろくはつらん

○素んして二名二斗入



てつらん

○いま邦て二名一合ニタ入  
 ○古ま守て二名二合タ入



はよ口六寸と下之寸六分と合九寸六分より  
 これとニツより四寸の分り一斗はこれを  
 尤右よ對かくれを寸此坪或百廿坪四分と成  
 是よ少さき寸くくは百廿八坪二分四りと成  
 これをいまゆとの法六四八二七て右廿坪と  
 日れは二斗一合三タとある也



又百廿八坪二合四リ一十六とわくらふとさよ  
二斗二合五勺八中ちりる

右とさん大くくは垂時よいあけりてうり  
廿四方ふりなを寸つりなる物い右と兼の  
やまやうりてんまうちうひあつめり但  
かさんては倍をくりあり

一 ますき斗ゆうす

○まひ入



けいまるきりわし九寸五分七リを右右よ  
なきあけくこれよりうを九寸五分七リくけて  
又まひまひ七五とくこれといま練のは  
六四八二七とまひのまひのまひのまひのまひ  
あつめり

○おひの合入



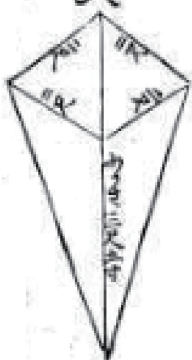
けいまるきりわし二尺四寸とひりちりまひ

をきりてわくれと五七六と版又ひりより  
一尺八寸とろのとりりおすとく

二尺四寸とろのり右の五七六寸くこれと  
一三八二四と版号よ三三ろり四五六一五二  
と版あれよ四法八とろり六四九五三六と  
なりあまふむりゆの法十六とくこれと  
わひの半で合よりろり○口九寸を右より垂  
わくれハ八一と版これよま三寸とろりハ二四三  
ろりくせり四法八とろりハ一四四と版  
せよま守の法十六とくろり半一合まて

右と二口合中一半の合まて内をろり  
とろりこれをくこれ六寸右右よ垂ろりハ三六  
と版号よあつめり六寸とくこれと二一六とかり  
これよ三三ろりハ七一二八と版号よまろり法  
八をわくれと五七下二四と版あれよま守の法  
十六とろりハ六合まろりろり右と六寸一半わ  
一タの内をぬ合一たりあて六斗の合とく

○七斗半五合とメニ支入



けしきとを右に。地さうくれて四とぬきまふ  
 少く三尺まをさめて一四とぬきこれより  
 三三とぬきこれ四六六二とぬき又ひり一棟のは  
 十六とぬきこれより七尺四尺ぬき九又二もわし  
 ちりし

傳を伝

應辨記卷之第三目錄

- 十七 檢地の事
- 十八 知り地元の事
- 十九 金箔北高よりくひ付地をなす積の事
- 二十 材木の事

才十七 檢地の事

○四五八畝十歩



けしきを換りて右より五尺からこれより四百五拾坪は  
 かりせと田の法三にて計り四及八畝十歩と計

○二及一畝廿八歩九分



けしきを右に五尺二尺六寸と右より一けんりり

う入り六尺五寸をくれば廿三丈一尺一寸一厘なり  
 又右より十八尺四寸と畫して一けんより入り  
 六五とくれば十三丈一尺とありこれを右に  
 廿三丈一尺一寸一厘より一丈の幅を有七十八坪  
 四分一厘も申しありなり 此れを一坪の法  
 四二二五にしてはれは六百八坪ありなりと  
 ありて 此れを田のは三としてはれは二畝一畝  
 廿八歩ぬかりや申しあり

一回右よりく田を五尺二尺六寸五分尺より  
 去るの二尺六寸を六五めてはれは廿五尺四と

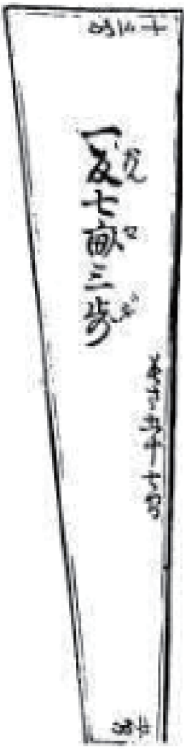
る所又横十八尺四寸四尺一厘を六五して  
 是れは十八尺一尺又一寸ありありあるをハ  
 寸してはれは六尺五寸と右よりをきしてはれは

○右の十八坪を合四りと方なり

まこと右よりくはれは六尺四寸五分尺より  
 去るの二尺六寸を六五してはれは廿五尺四と  
 ありて 此れを田のは三としてはれは二畝一畝  
 廿八歩ぬかりや申しあり

廿  
 一畝廿八歩一合あり 是れは七十坪なり  
 廿七

法より七十七方より五尺をかくれば三八と合  
 二寸を五にしてはれは六百八坪ありなりと  
 是を田は法三にして割ると一畝廿八歩四分六厘と  
 ありあり



法より十三方より又五尺をくれば八の法より  
 十八方より成るれを二ツにわると九方より成るれと  
 是れ七十七方よりくれば六百十三坪ありなりと  
 田の法三にしてはれは二畝一畝七畝三歩ありなり

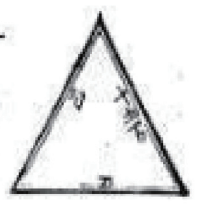
○八畝



は十二方と二ツよりわり六方よりなりこれを  
 かくるは四拾五よりくれば六百四拾坪ありなり  
 是を田は法三としてある時は八畝とありあり



○三畝七歩四分



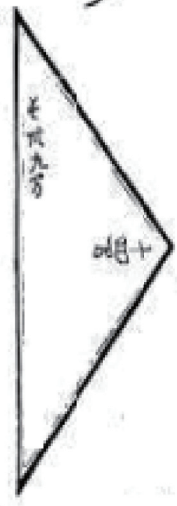
法より十五畝左右より垂くこれと或る七五坪より  
これより又三畝の法四三三をかくふとすこしより  
九拾七坪に分ニリ五も分是を田の法三三にて  
割時一三畝七歩四分ニリわかるとさうへし

○八畝十二歩



法より横十八方と二ツより下り八五方よりさ  
これと長さ廿八方より下り八五方五十二坪より  
先と田の法三三にてわかれ八畝十二歩とさうへし

○九畝三歩



法より横十四方を二ツ小より八七けんよりさ  
これと長さ九方より下り八五方七拾三坪より  
さうへしこれと田の法三三にてわかれ九畝三歩とさうへし

○一及一畝六歩



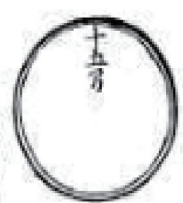
法より一と十六けんより中八方よりさうへし  
又十一方よりさうへし廿五合廿六方よりさうへし  
三ツより下り八十二方と分是より廿八方より下り  
三畝六坪と成田法三にて割一及一畝一歩と成

○六畝六歩



法より廿八方より十四畝よりさうへし  
廿二方より下り八廿一方より分是より九方より下り  
百八十九坪よりさうへし田法三にてさうへし

○五畝七歩七分



法より十五方を左右より垂くこれと或る七五坪より  
さうへしこれより又三畝の法四三三をかくふとすこしより  
九拾七坪に分ニリ五も分是を田の法三三にて  
割時一三畝七歩七分ニリわかるとさうへし

○五畝廿七歩七分五厘



法一圓きりわしうくぬ時まわりを  
うほせきり四拾七段二尺六寸あり二尺六寸  
りりて六五もてわねえ四十七百四寸しかり  
これぞ圓きめくり此法三一六めてわぬ時  
まらきさしわし十五けんやしちるへ  
げ十五方を左右よをきかくれハ抄五北五坪も成  
きりさ法七九をうり百七十七坪七ハヒリ

うほかり是と田の法三にてわのるとまら

五畝廿七歩七分五厘とまらへし

○一及三畝十歩四分



法一かりさ廿二方り一換十六方をうくれは  
五百十二坪やしなるりこれり又きりさ法  
七ぬをかくれえ四百四坪四分りなるり是と  
田の法三もてわのりしきり一及三畝十四歩  
四分りまらへし

○一及二畝十八歩八分



法よま世界のうちをよこ十四りり時よ珍て  
十六方り是よ十で百をうくれハ四百廿四坪も成  
これと右よへちよ懸又右よ十四方左右よをき  
かくれハ一九六よかりせよ圓き法七九うくれえ  
百々千に坪ハ分四りと成られを右よよくへる  
時よ三百七十八坪ハ分四りも成これと田の法  
三てまらハ一及二畝十八歩八分りとまらへし

○一及九畝廿四歩



法よまきめ餘四万よ四拾五方をくまら時り  
九換カ方よりり二四ふことれハ四十九方家よ成  
これり一換十二方をくれハ五百九十四坪も成  
これと田の法三もてわのりへし

○一及二畝四歩





法一り一と廿六万と二ツよはれぬ十三畝一  
 ろの是を廿八万一りわくれば三百六十四坪と  
 なるべし 此れを田は法三にてわぶるともなり  
 一及二畝で歩とあるへし

〇一及一畝十二歩



法一りかろき廿八けんよぬけんをわく時よ  
 三百六十二坪申しある方のこしを田は法三て  
 日つとさよ右とこくく日つりかろ

〇一とん五か



法よ十四けんよ九万とくくの時よ廿三畝よ成  
 此れを二ツよはれぬ六十一万なり一かろこれよ  
 とき或後三万とくくれば三百六十四坪なり  
 右よ是をへち一りをき〇又八万と二ツよ時  
 四万よかろ是よ又九万とくくれば廿六坪と成  
 右よ或百六十四坪なりとくくれば三百坪なり  
 田の法三にて日れぬ一及五畝とあるへし

〇一及十二歩



法よ十六畝二ツよわくとくき八万よ成これと  
 是廿九万よくくれば三百十二坪よ成田法三にて  
 われぬ一とん十二歩やとあるへし

〇一及三畝十五歩



法よかろき廿三万一り又十二万とくくの時よ

四十五万一り成二ツよわく時廿二畝とんよ成  
 此れは横十八万とくくれば三百五坪よ成田の法  
 三にてわれぬ一及三畝十五歩とあるへし

〇一及三畝十九歩



法よ廿九万よ十八万をわくれば七百二坪よ成  
 此れを右よへちよ〇又六万にけをぬ万の  
 けよとくくの時十五万よ成是を二ツよはれぬ  
 七万成是よ廿九畝とくくれば三百五十二坪なり



かり是程右の内を引時於て四百九坪あり  
 田の法三にてはれ右のこゝまはしうり

○一畝四畝



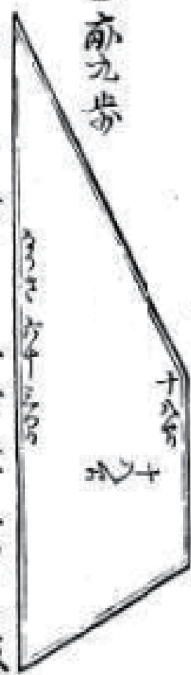
法は是廿八方より十五方とさし引るる北坪は  
 田の法三にてはれ右の一及四畝とさるへし

○一畝六畝廿四歩



法は十七方より十一方とさし引るる又一倍より  
 廿六方とさるこれと四つを割る積四より  
 これを是廿六方とさるこれより五百四坪より  
 田の法三にてはれ右の一及六畝廿四歩とさるへし

○二及四畝九歩



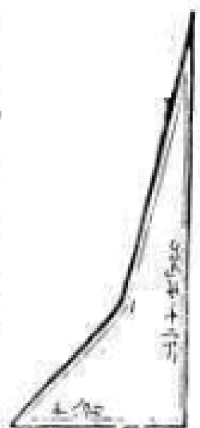
法は六十三方より十八方とさる時八十一方より  
 ニつより時十方よりさるる是より十八と  
 かりは是百廿九坪あり三て割二畝四畝九歩と

○一及三畝廿四歩



法は十二方より十八方加へる時廿方より二つは  
 わる時十五方よりこれより十五方と  
 うこれと或百廿五坪よりへちなりとさる○又  
 撥十八方より三方とさるるは北一方より  
 ニつよりはる十方より是よりを是廿八坪より  
 かりは是百八十九坪よりかり右の或百廿五坪より  
 らは是百八十坪より是田の法三にて割るは

○四畝二十四歩



法は二方と二つよりわりて一方よりかり  
 かりは是廿四坪より是より  
 又二方より十八方とさるるは是より廿方より  
 ニつわりて十けんよりかりこれを是十二方より  
 かりは是百廿七坪よりかりは是廿四坪より  
 かりは是百四十四坪より是是田の法三にて  
 是れは四畝或は終は歩とさるへし

○一及七畝三歩



法一は世三万は廿四町くらゐ入ての餘七万は依  
これを二ツよとれは廿八万なり。るるこれよ  
るる十八万かくれは五百十三坪あるはこれに  
田の法三てあり時一及七畝三歩とさるるなり  
右柳地の積うは市見ありせうん月かたり  
皆必む月かたりてとせ初む人よとるへの  
あめとして六くくめけと

第十八 知り物ぬらま

一ニ畝七畝の時 斗代一及斗まをぬけ代より  
右とさるるふむとさるるやう時

○まを石五斗といふ  
法一りニ畝七畝と右よ垂する石五斗をうこれと  
さるる石五斗とさるるへし  
一九反三畝廿一歩と 一及斗を石五斗代よりて  
右とさるるやうとさるる同時

○まを石五斗といふ  
法一右よ九とん三畝廿一歩とさるる畝より下の

廿一歩とさるるにしてより時九とん三畝七とさるる  
これよ一石五斗とさるる六とさるるへし

一三三万五千或百石と 右に物ぬ六ツ五斗依と  
いふ時右とさるる物ぬ捨て何れより中とさるる時

○物ぬ二万二千の百り捨石といふ  
法一三万五千或百石を有りなき六ツ五分と  
かくれは右のもの成とさるる  
一畝一撮とさるる一石の内ま千五百餘れは依こ  
一三三万五千或百石あり け物ぬ二万五千八百  
八拾百とこれづくつ成とさるる同時

○六ツ五分はなるといふ

法一は物ぬと右よ垂するはこれ六ツ五分と依  
一回三三万五千或百石物ぬ二万二千八百八拾石  
あり時右とさるるあつとさるるさるる時

○三撮五斗といふ

法一右の内ともの成れりもめて一万二千  
三百或捨石とこれとさるるはこれ三とん五分と  
一物ぬ六ツ五分よりして物ぬ二万二千八百八拾石  
あり時右とさるるぬといふ時

○三三万五千或百石といふ



はくよりの成二万二千の百の千石と六の五分て  
はくよりの成二万二千の百の千石と六の五分て

一 物除二万二千の百の千石を まゐり付 口米二斗  
史米六斗の時右の物除の口米史米と定う

○ 口米史米千の百廿石四斗といふ  
はくよりの物除と右のなまきで八斗とかくれといふ

夫米とちのる  
一 物二万二千八百八十石の時口米史米廿斗  
一 一斗にしてまきいさきわしといふとちのる

○ 二万四千七百拾石四斗といふ

はくよりの成二万二千八百の千石とみもこのなまきで  
ひしかりのまきいさきわしと垂これと右へからつたとき

二万四千七百拾石四斗といふ  
一 口米史米史米廿の二万四千七百拾石四斗の時

口米りりわと史いさきといふ時  
○ 口米二万二千の百の拾石といふ

はくよりの成二万四千七百拾石四斗と右の半て物  
一 口米史米史米廿の二万四千七百拾石四斗

あの時右のうちに口米史米とちのふれといふとき  
○ 口米史米千の百廿石四斗といふ

○ 口米史米千の百廿石四斗といふ

はくよりの成二万四千七百拾石四斗のなまきで  
ひしかりのふれいさきわしと垂これを八斗にしてわぬ時

一 三五とちのなまきにして右のなまきをわつといふ  
千の百廿石四斗といふ

一 口米史米史米廿の二万四千七百拾石四斗の時  
右のうちに口米史米廿のふれといふとき

○ 口米史米千の百廿石四斗といふ  
はくよりの成二万四千七百拾石四斗のなまきで

五四とちのなまきにして右の二万四千七百拾石四斗と  
はくよりの成二万四千七百拾石四斗といふ

一 口米史米史米廿の二万四千七百拾石四斗の時  
史米りりわとちのふれといふとき

○ 史米千の百七拾二石四斗といふ  
はくよりの成二万四千七百拾石四斗のなまきで

一 八とちのなまきにして右のなまきをわつといふ  
史石八斗といふ

一 史米千の百七拾二石八斗ありの時口米史米廿のふ  
れといふとき

○ 口米二万二千の百の拾石といふ  
はくよりの成二万四千七百拾石四斗といふ

はくよりの成二万四千七百拾石四斗といふ



六斗より上りぬる中米とある也

一 日米四百石餘七石六斗七升付け中米さうふれく  
ろくしんうしんまじり

○ 中米二百二千九百八拾石とあり

はりてらぬ千七石六斗を二束よりして上ぬる  
中米ゆしき向へし

一 日米中米より千八百廿石四斗五升より中米ハ  
あらぬとあり同付より

○ 中米二万二千八百八拾石とあり

はり千八百廿石四斗と中米として上ぬるまじり

一 日米中米より千八百廿石四斗五升より中米と  
かふれくろくしんまじり

○ 中米千三百七拾二石八斗とあり

はり右の中米とをききてこれを八束にして上ぬる  
七斗とかりこれよりして右の千八百廿石四斗と  
われぬ中米千三百七拾二石八斗とある也

一 年欠り右の中米七斗よりして右の千八百廿石  
日米中米よりして中米さうふれくろくしんまじり

○ 中米八石五斗とあり

はり八石六斗七斗と二石中米として上ぬるまじり



金積まくのりうい 付積のり

一 四寸角千五百段と三寸ふちよりしてろくしんまじり  
とありまじり

○ 三寸角二千六百六十六段六分六リとあり

はり四寸角を右のりをききてこれを十六坪よりして  
あれより寸角千五百まいかくれに二万四千坪と  
るろくしんこれを右よりへちまじり○又じりより

三寸と右のりをききてろくしん九坪とあり  
右に二万四千坪と刻て二千六百六十六段六分  
六リゆしき向へし

一 二枚ひょうりのさきおたし三尺ありまて  
 一三寸は是れ一四寸は金高のふり入りの

○百八拾七まいなりとす

法一五尺より六尺とくれば一三寸の坪三子坪は  
 これを四寸の坪より十六めてわかるとす  
 百八十七枚おとされど是れをめんを一わりの  
 ニわりの入るなりつれもはるよりす  
 めけゆしまるなり

一 六解つらゆれ角のともて七寸のありとす  
 ありとす金高とく時高の入りなり  
 とうとす

○一三寸坪百七十七坪三分あり

○三寸は十四枚一分四り入



法一七寸と右有とをきくつり四九とぬこれと  
 六角の法二五九八とぬこれ七坪二分二あり  
 これと七寸は九坪ありとぬこれ三寸の法で  
 十でぬ一分四りとすなり

一 八角のをもて六寸つくと時高も三寸は金高  
 ありなり入なりとす

○一三寸坪百七拾三坪二分あり

○三寸は十九枚三分一り入



法一六寸と右有とをきくれば三六とぬこれと  
 二とくれば七二とぬ是を八角のは四一四にて  
 ぬれり百七十三坪八分三りとすなり又これと  
 ぬれてより時十九枚三分一りとすなり  
 右とす用とすけはとすなりと見合入

**身井** 材木のし

一 三寸角の二枚木四百枚あり これより四寸角の  
 二枚木をぬく時四寸角のふりなりとす

○四寸角は百廿五枚あり

法一三寸と右有とをきくれば九坪とぬこれと  
 四百枚ふりなり三六とぬ右より別なり垂なり  
 又ひりり四寸と二枚をぬくれば十六とぬ  
 是にて右と三六とぬこれ四寸角の百廿五枚と  
 ありなり

一 八寸角の二枚木七枚あり時五寸角の二枚木と



かへし時右に八寸角の三万本七寸五寸角と  
かふれくなく和申さる

○五寸角二万本

寺拾六中と

○五寸角四寸四分の角 一中といふ

けよ八寸を左右よまうくれば六四の角は  
三万とぬく時一五二とちり又七中をわけて  
一三四とぬ右よりへちよ垂○又五五寸を  
左右よをまわれば二五とぬれば二万とちり  
五よる角はよく右に一三四とぬれば  
寺拾六中といふまてわけてよ一めて四四とぬ

五寸角四寸四分の角といふ

一又五寸角四寸四分の角と申角よりてちりんす  
角とぬといふ

○四寸六分九厘四方此角といふ

けよ四寸四分五寸をうくれば二とぬこれと  
開平法にてまれば四方とちりちり

一四寸五寸四分四分の二万本を五寸角よりて  
ちりちりちりちりちりちりちり

○一四四尺九寸四分といふ

けよ四寸四分五寸とちりければ二とぬぬぬぬ

かへしき此二万を一丈三尺とちりてこれと右の  
二二へくくぬ時二八六とぬ別よ垂又ひよりよ  
五寸を左右よをまわれば二五とぬれば右に  
二八六とまれば一丈一尺四寸四分とちりぬを  
一万の法六尺五寸とぬけんまてわけて右に  
右とちりぬ

三寸角此二万本三百の餘中あり時よ五寸角の  
二万本とちりぬ時より三寸角をまわると  
五寸角一中とちりぬ角を一中とちりぬをいよちりて  
ちりぬ時三百の餘中ぬくよ五寸角の角とぬ

○五寸角

九拾二中と

○五寸角三寸二分三厘の角 一中といふ

けよ三寸と左右よをまわれば九とぬこれと  
ちりぬ餘中ぬくければ三一五とぬ右よへちよ垂  
ひより小五寸左右よをまわれば二五とぬ右よ  
ぬとちりぬ時三四とぬれば右に三一五と  
ぬ時五十二年六四七とぬば六四七といふ  
まればぬ時五寸と左右よまわれば五とちり  
これを六四七とちりぬ十六一七五とちりぬを  
又五寸とぬれば三寸五分とちりぬとぬ



一六寸角の二万本と一中付宜本五寸のわりツツの時  
六寸角五尺の時右に補うて五尺をたふす  
まに同附す

○六寸角を代き五尺をわり加へし

法一六寸角二万本乃代宜本五寸のわりよを八を  
たふし二七五とつら量と一丈三尺てまね  
ま系七ふ九りやしちるへ

一五本りわし五寸よ一丈六尺二寸のり  
これを五寸角よるてとさうふりくよ候と  
○五寸角一丈三尺よ候といふ

法一一丈六尺二寸五ふよ八をくつ候時

一丈三尺とちり又七九をわけくも  
五寸角に介るき一丈三尺の時九本りわし  
五寸よてとさうふりくつ候といふ

○一丈六尺二寸五ふよ候といふ

法一一丈三尺を八してわねの右に  
まねて○又七九ゆてまねの右に  
一まる本さしわし六寸の時まねて四角  
まにてちりくつ候

○五寸よ分り三毛の角よ候といふ

法一ひひりよ一一二五と垂てこれに右の  
六寸をまらつみゆこれまくとちる  
一又五寸よ分り三毛四角ある角よまらつ  
るてちりくつ候といふ

○六寸のまる本よちりといふ

法ひひりよ一一二五と垂これに右に五寸よ  
三毛三毛よわねに六寸ゆしちる

一六寸角の二万本四本をらつとまらつとまら  
平地のそく二尺よあつき八寸ゆらと三毛  
これを六寸角二万本の補うてひひり

ちりくつ候といふ

○平地代設松の五尺をわりよあつと

法よひひりあつき八寸五分よそく二尺わね  
一七と候これよちり三毛とわねに五一と  
是よ四本をらつとまらつと二四二とちり  
右よへちり垂ひひりよ六寸とちりよを  
まねに三六とちりよ二毛とわねに七二と  
これにちりよ二四二とまらつとまらつ  
ちりよをちりゆしちる

一ひひり代向末の時一ちりといふちりよ

まゝにして一しめとりしむを右に或百々々とするは  
さしてさめてより時よ一々々 五寸のさすく  
あつ時五尺をさすくは四尺五寸をさすく  
さんさくさめてあつて同時よ。

○四尺五寸をさすくは或百四拾七米ぬいしよ  
はく五尺をさすくは三一六めてあつてさすく  
一尺五寸の分ニリニ色とぬこれと左右よとさす  
くこれと一寸四方の坪敷ニ而の餘下三分とリ  
の色六条八拾四とさすくせよ二百とさすくは時よ  
五百下下拾七坪分三リ六毛八条とさすくを

んもさすく 別ふ敷せの又四尺五寸と三一六て  
わいふ一尺四寸二分四リと成これと左右よと  
さすくは或百下二坪七分七リ七毛六条とさす  
くはして右に五方下下六十七坪分とさすく六八と  
わいふ二百四拾六米五分と成さすくを一々々  
して七々々しよあつて

一回ひまの四尺五寸のさめさすく米を三分と五尺  
をさすくはさすくしてさすくはさすくはさすく  
○五尺をさすくは或百拾二とさすくはぬいしよ  
はく四尺五寸をさすくは三一六めてわいふしよ

一尺四寸二分四リと成色と左右よとさすくは時  
或百下二坪七分七リ七毛六条とさすくはさすくは又  
二百とさすくはくは四尺五寸五分五坪五分二リと  
右よへちよとさすく○又五尺の坪敷とさすくは  
或百五拾下三分三五六八四と成て右のをさすくは  
百六十二とさすくはさすくは

一五尺をさすくは一寸五分とさすくの時をさすくは  
○四分一リ一毛とさすくはさすくは  
一五尺をさすくは内五分とさすくは時をさすくは  
○五分四リぬとさすくはさすくは

一五尺をさすくは内五分とさすくは時をさすくは  
○四分一リ一毛とさすくはさすくは  
一の尺をさすくは内四分とさすくは時をさすくは  
○四分一リ一毛とさすくはさすくは  
一五尺をさすくは内五分とさすくは時をさすくは  
○四分一リ一毛とさすくはさすくは

はく五尺をさすくは内五分とさすくは時をさすくは  
さすくは三一六めてさすくは一尺五寸八分二リ  
二毛とさすくは色と左右よとさすくはさすくは拾下  
三分とリぬと六条八拾四と成右よへちよとさす



又四尺五寸とまるまは三一六としてわかれ一尺  
四寸二分四リとぬこれと右右に垂てうくれも  
或百下二坪七分七リ七毛六糸とぬ是れ右と  
五尺のまの坪内針がて四拾七坪五畝のり余と  
是と又或下二坪七分七リ七毛六糸とてわかれ  
寸小ニわりと分四リ五毛とちのへし

一竹一束とつめをまわり一尺八寸あり右の内  
寸をさくあり寸らんわのたぬをぬく時  
一尺八寸とて一寸さくの時  
一尺八寸とて一寸さくの時

一尺八寸とて一寸さくの時

○ニわり六分かり六毛さくの時

一尺八寸とて内寸さくの時

○田より四畝さくの時

右一尺八寸とて一寸さくの時  
一寸さくの時

一尺五寸とて一寸さくの時

○一わり七分四リ二毛さくの時

二尺とて一寸さくの時

○二わり七分四リ二毛さくの時

あつた二尺八寸とて一寸さくの時

くいつの時一尺八寸とて一寸さくの時  
あつた二尺八寸とて一寸さくの時

○或畝六分六リ五毛とぬの時

はよ二わり三分四リ五毛とぬの時  
十二三四五とぬはよ二畝をうくれ右とて  
まれしかり

又一尺八寸五分さくの時  
十とぬの時十四四とぬはよ二畝をうくれ  
是を三分かりの毛をさくの時

塵劫記卷之第四目錄

廿一 川ふきの事

廿二 茅ふきの事

廿三 木のさくの時

廿四 町はかりの事

廿五 用平法の事

廿六 開立法の事



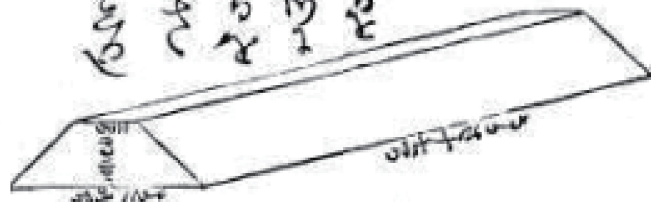
才井

河津のま

一は境の呼教さふりての句

百廿五呼まゝ

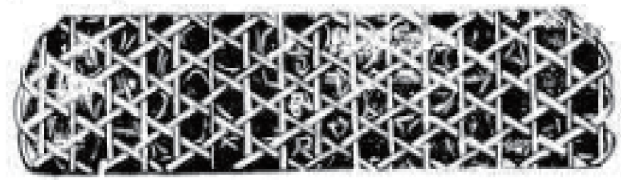
はよ下りてのまゝ  
くまのつ時合ハ  
わまのまゝ  
くまのつ時合ハ  
わまのまゝ



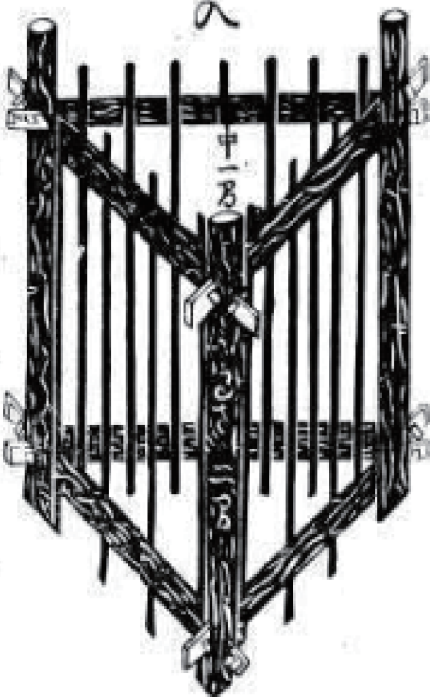
一やうこ乃けまりのま

四呼二合七支入

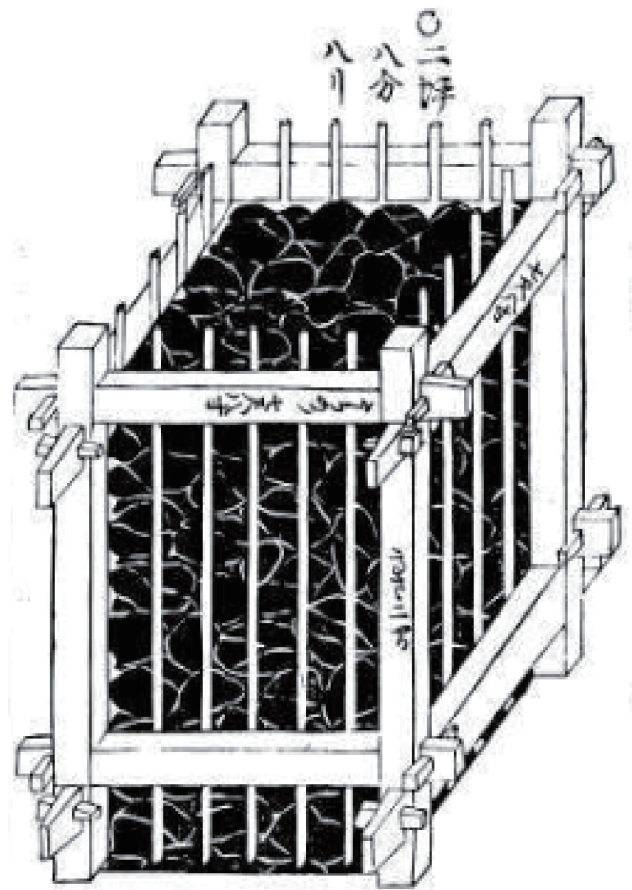
はよめえと丸右ま  
二由とぬ  
くまのつ  
もまのま  
これと四二二五  
四呼二合七支入



〇二呼入



はよ中二つと丸右ま  
これよりまゝ  
まゝ



法よりさういれうりのかきとんはすくおきや  
 これをさういれうりのかきとんはすくおきや  
 さきさひひんりやんさきとんはすくおきや  
 一坪半分りしうりやんさきとんはすくおきや  
 二坪をうりしうりやんさきとんはすくおきや  
 一坪  
 又七尺八寸をたぢよあぢよとんはすくおきや  
 ち下八中ちちりしうりやんさきとんはすくおきや  
 ち下八中ちちりしうりやんさきとんはすくおきや  
 ち下八中ちちりしうりやんさきとんはすくおきや



法よりさういれうりのかきとんはすくおきや  
 九七六一四とんはすくおきや  
 四二二六七下三五二とんはすくおきや  
 ち下八中ちちりしうりやんさきとんはすくおきや  
 田二二五とんはすくおきや



才世

美あやまんわり世

一 浅い地銀作へい銀ともありひは五百七拾五粒

主人三つ〜〜〜てさげ〜〜とささ〜

一 一カ〜らの人クワ 七百拾人

一 一〜られ人クワ 千五百人あり

一 一カ〜ら乃人クワ 七百廿人あり

三 次合三千人 一カ〜ら乃人クワ 七百拾人あり

○ 取口百四拾九万五 七百拾人の分

○ 取口百四拾七万五 千五百人の分

○ 取口百廿八万 七百拾人の分

一 浅い地銀作へい銀ともありひは五百七拾五粒

主人三つ〜〜〜てさげ〜〜とささ〜

一 一カ〜らの人クワ 七百拾人

一 一〜られ人クワ 千五百人あり

一 一カ〜ら乃人クワ 七百廿人あり

三 次合三千人 一カ〜ら乃人クワ 七百拾人あり

○ 取口百四拾九万五 七百拾人の分

○ 取口百四拾七万五 千五百人の分

○ 取口百廿八万 七百拾人の分

一 浅い地銀作へい銀ともありひは五百七拾五粒

主人三つ〜〜〜てさげ〜〜とささ〜

一 一カ〜らの人クワ 七百拾人

一 一〜られ人クワ 千五百人あり

一 一カ〜ら乃人クワ 七百廿人あり

三 次合三千人 一カ〜ら乃人クワ 七百拾人あり

○ 取口百四拾九万五 七百拾人の分

○ 取口百四拾七万五 千五百人の分

○ 取口百廿八万 七百拾人の分

○四千六百十五坪三合り夕きといふ

法は二万二尺と有るまでけ二万りりりよ六尺  
五寸少くれば一丈五尺と成る事ふひろき五万を  
くくれば七五とう成る事よ七四百けんとかくは時  
三と成るれを六尺五寸にしてはる時よ四千六百  
十五坪三合り夕きといふ○又法はよいふ  
二万二尺とも向よ二尺たりりを六尺五寸して  
わろ成る事二万三下七六九と成るれより五万を  
かけて又かりき成るけんをうく成る時四千六百  
十五坪三合八夕きといふなり

一りりのとまきやう万よひろき五万三尺よよき  
二万二尺あり時よけ呼うおりてをうく成る時

○五千四拾一坪て合り夕きといふ

法は二万二尺と有るまでく二万よ六尺五寸を  
うくれば一丈五尺と成る 又五万三尺よも五万  
りりりよ六五をわくれば三丈五尺五寸と成るを  
一丈め尺ようくれば五三二五と成るれよとまき  
やう万をわくは時二二三と成るれを四二三五  
にしてわろは五千四十一坪て合り夕きといふなり  
又二二三を六めらて二ふひわけても同まき

りりのかりき成る尺小ひろき五万三尺と  
少き二万二尺も向け坪うけ成るくくく

○五千の拾一坪一合り夕きといふ

法は四万五尺と有るたくりよ六五とくれば  
成る百拾五の尺と成るよひろきも右とまき  
までくればとまきうけて又少きも一丈五尺よ  
ううて有るよくくれば一三八七一六二五なる  
是と有る別よ成る又右の坪のは二七四六二五と  
なきてこれよ右をわろ時りり五万四千一坪  
一合り夕きなりといふなり

一五千坪を時りりり口のひろき五万よ少き  
二万りりりり右も五千坪れろきと成る

○かりき成る万よ成るなり

法は五万と二万りりりりこれと十二坪成るかり  
これにして右も五千坪をよれんをいふ成るなり  
一又五千坪を時を成る万よひろき五万うけて  
みまこの五千坪のかりきとまき成る  
○かりき二万りりりりり  
法はとまき成るけんよ五万とくれば二千坪と成  
これよて五千坪をよる時二万りりりりりりり



一 ちりのとちの四百けんひんさき五万ふらで二万せ  
あつちりをうめいさきとまきこりけうめだちよ  
と四百の積りよひろさき三万ふらで二万せ極と  
ありては五せりふ小れけうまらなを同時り

○一尺二尺八寸五分うまらやし  
はよとまらうの千一りひろさき三万とくれ  
千四百中拾坪とぬこれよ少さき二万とぬこれ  
二千の百の拾坪とぬこれとを別りなきを  
又ひりてとまらうの五せりよひろさき五万と  
まら六二千坪とぬせて右に二千八百八十坪と

われん一尺四寸とぬらうは四四とぬま  
まれの時せよ六尺九寸とぬれ一尺二尺八寸  
六分とちうへし

一 又右ちりをうめい時よ一一方よりうめて  
ゆくときとちうさきふりけうまらなを同時

○まき或百世敷二尺六寸うらうまらとゆめ  
は小ひろさ五万よ二万せとくこれ十二坪よと  
かろせはて二千八百八十坪とぬれ六或百世敷  
四とぬば四よ六尺ぬすをぬこれと或百三拾坪の  
二尺六寸とぬれどなり

一 へらのま一尺一尺九寸よとん七拾二万ありの時  
アまこの坪のうらふりくまなを同時り

○の積八坪六分一りのむとまら  
法よ一尺一尺九寸と右よまは二万さうりり  
六五かうりり時り尺とぬこれを七七十二万よ  
うら風時よ五七六とらうこれを六尺五寸よ  
わりのとまきり八十八坪六分一りのむとまら  
まらへし

一 ち孫坪廿六坪の時とけらあまらうまてよま  
ちりて入る中とらう時りのまらとあり一尺  
中よ一尺五分むびて三寸あり三とらとらり  
わらとて一尺五寸のありうらとく三寸あり  
かきつとめて右に三十六坪りかき敷の入積  
かふりくまら同時よ

○三万三千の百ぬ入といふ  
はよ四二二五よ世六坪とぬれ一五二一とぬ  
これと右よへち小なき又ひりりよ板のまら  
三寸とや孫北あまら一尺ぬらまらこれと  
四五とかろせはて右に一五二一とまら時り  
三万とらうのぬやまらるる

二 ころもいれのひ一尺 舟五分あがりわよわり付垂

○五分 ころもいれのひ一尺二毛四糸ぬ糸

○一寸 ころもいれのひ四りぬ毛八糸七糸

○二寸五分 ころもいれのひ一分一毛八糸

○二寸 ころもいれのひ一分九毛

○二寸五分 ころもいれのひ五分下七と七糸

○三寸 ころもいれのひ五分四下三糸

○三寸五分 ころもいれのひ五分九毛三糸

○四寸 ころもいれのひ七分七下三糸

○四寸五分 ころもいれのひ七分六毛八糸

○五寸 ころもいれのひ一寸一分三糸

○五寸五分 ころもいれのひ一寸四分一毛七糸

○六寸 ころもいれのひ一寸七分六毛一毛ぬ糸

○六寸五分 ころもいれのひ一寸九分二毛六毛二糸

○七寸 ころもいれのひ二寸二分五糸

○七寸五分 ころもいれのひ二寸五分

○八寸 ころもいれのひ二寸七分二糸

○八寸五分 ころもいれのひ二寸九分四毛四糸

○九寸 ころもいれのひ三寸四分三毛六糸

○九寸五分 ころもいれのひ三寸七分一糸

○一尺 ころもいれのひ四寸七分四毛一糸

右 糸高実法とてわり付垂なり

一 ありのむしひのそしらのわのきけけたすとのち

三 あり五寸ころもいれのひ一分九毛ぬ糸

あつらやとてまきなり

○三百二尺三寸一分わりぬ毛五糸二糸と云

は三百五寸五分三毛ぬ糸一丈ぬ尺五寸と云

二 ねを五寸ころもいれのひ一分一分三糸小

わくれも二尺三寸一分わりぬ毛五糸と云なり

これを三百五寸とてなり



木のうろをささてとちあてはてけりるなり







法よんあつるを四角くありて  
 又Onsenyupateありて下は  
 小石やみりりてはりまはせ  
 かしすしんくうはれあふあはて  
 だつしきてしんあより木の糸  
 まてげんをよてうらてひか  
 ちかひんねん精だのしんあ  
 樹の木のOnsenyupateなり



才舟

町けりたす

せうぶねのたつてりあ  
 といりまてりれんあ  
 ちあわちあつるあはし  
 Onsenyupate町けりたす



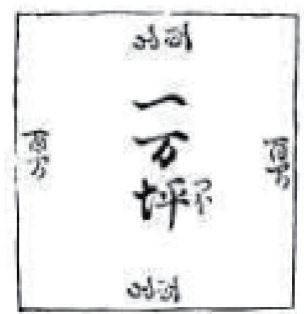
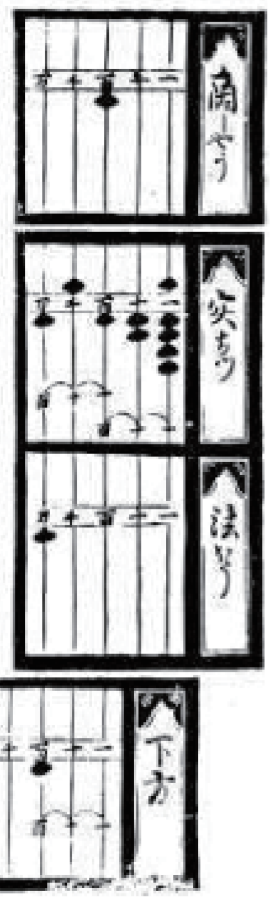
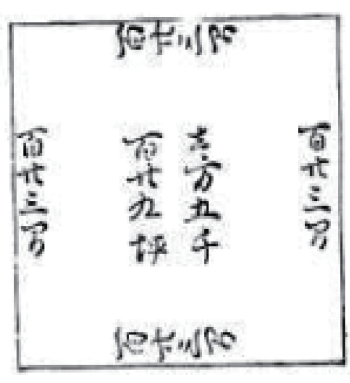
町けりたす  
 Onsenyupate町けりたす



けいこすあつひのひも二又二寸七分を  
 いをけいけて口ふらへてむらぬ人を  
 みり付よあひつてはりよえぬり付いれよ  
 こどくくわい二分四りこわいこわい  
 むらぬ人のたけさくもえあつてみり付  
 めえと二分四りあてまる付よ二百八分こ  
 こ二寸七分けいこ二寸七分まね  
 附れよ六五とくわい二百八分二寸  
 七分とぬれよと格ちてよれい三町廿八分  
 二又二寸七分とさつてろりり

**開平法**

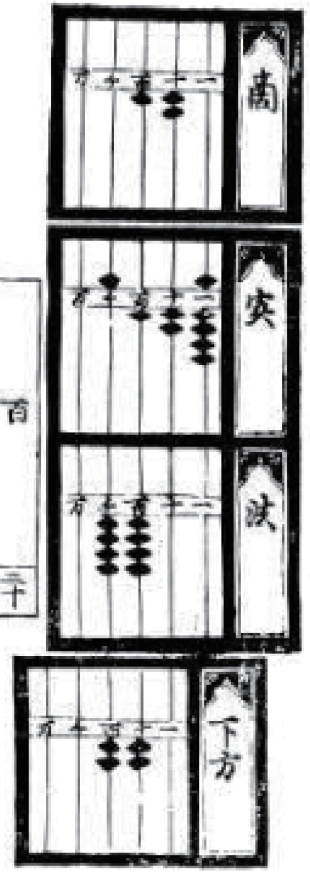
坪数 本方五千百廿九坪あると四方より  
 一にて一方は五ふれあつてい付  
 百廿三万四千方とよ



けいこすあつひのひも二又二寸七分を  
 いをけいけて口ふらへてむらぬ人を  
 みり付よあひつてはりよえぬり付いれよ  
 こどくくわい二分四りこわいこわい  
 むらぬ人のたけさくもえあつてみり付  
 めえと二分四りあてまる付よ二百八分こ  
 こ二寸七分けいこ二寸七分まね  
 附れよ六五とくわい二百八分二寸  
 七分とぬれよと格ちてよれい三町廿八分  
 二又二寸七分とさつてろりり

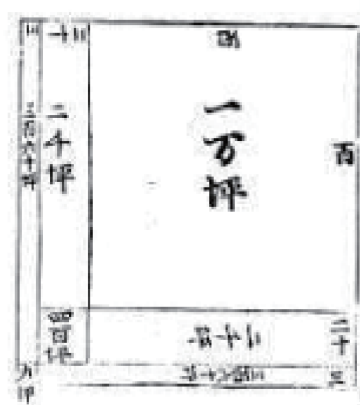
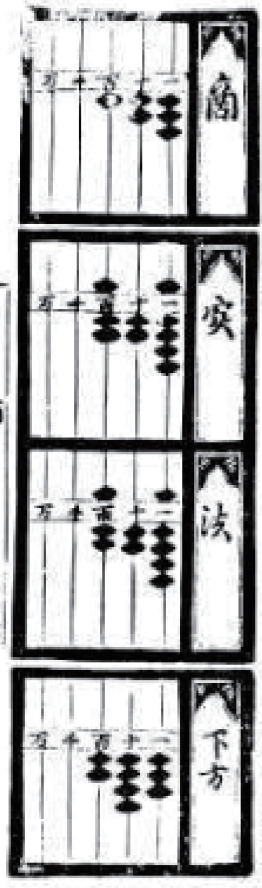
のこりて 五千百廿九坪あり





けよりふ商の百のほきさるふ二十とをきて下  
 下方といくくいさけて百を一をいふ二百い  
 るして下は二十とをきては三十の商ふらま  
 ちいいてきてはさるふはけりて下方の二百  
 商乃廿とふふ二二乃四十とけりてをきてま  
 下方のすふ商のすをふふ二二の四百はよ  
 をきてこれを突らてりり

めて七百十九坪あり



けよりふ商の百のほきさるふ三とをきて下  
 下方といくくいさけて廿を一億四十とる  
 三とをきてはさるふはけりて下方の二百  
 二二三の百と法は又下方の四十は商乃三  
 三とよふ三三の九坪と法は又下方の三は  
 これを突らてりり

一積三堆五京二兆一億二万五千二百二十五坪と

開平法を志してそふふれくそく開付あり

○一万八千七百六拾五方といふ

一積九条五兆一億四万令五百十六坪あり付あり

これと開平法よりてうふれくそくといふ

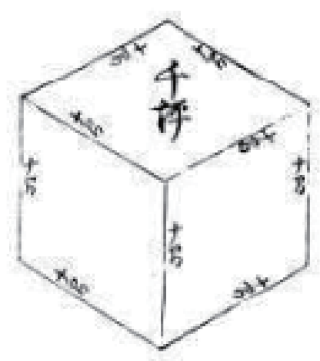
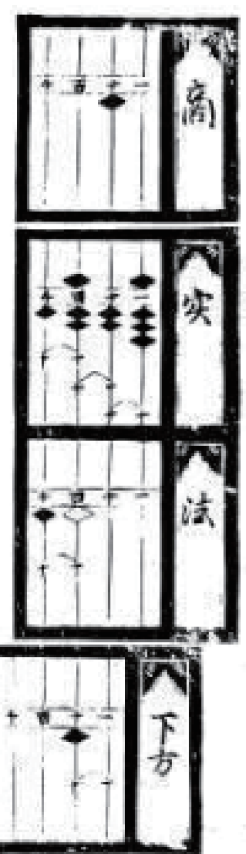
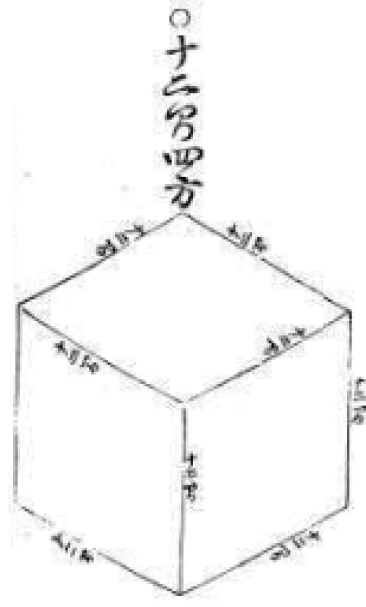
○九千七百六十四方といふ

右よりいへい法を併せりわの又一たんとて

日付のせんもありこれには結あり

**開立法**

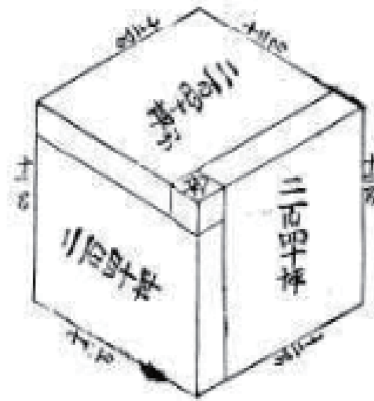
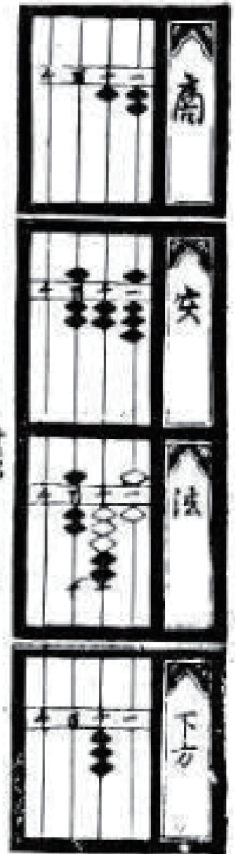
呼敷子七百廿八呼わりこれをとてふと  
 だうそむあうあひなうて何やうかと  
 さう付あり



けよりふ安よ千七百廿八呼とをまるとまの安を  
 くらういとをる二十二十ととまのりくらうと  
 りすへてありかり付ふすといふの十のくとい  
 まの商よ千とあふと又下方よ二十とあふ  
 すとてこれの商の十とてくらうてあふり  
 ざとてはよと下方の千と商の十とよふて  
 二一の百とあふと又法の百とかり二十とあふて  
 あふりて法の百とあふの十とをよふと二一の十呼  
 きのとこれと安よとけりてさうて

○あて七百廿八呼あり





法より小商は十はつきまゝ二番きて下方の十を  
 三双倍は世とす一にてを二とす一とす一とす一とす  
 又法よりて下方の十は二番の十を二とす一とす二  
 世とす一とす又法世乃の十はつきまゝ一にて下方の十は  
 二番の十を二とす一とす二の六とす又法の十は  
 一とす一とすへ上いて法の十は二番の十は  
 一とす一とす二の十は二番の十は二番の十は  
 一とす一とす法の十は二番の十は二番の十は  
 一とす一とす十は二番の十は二番の十は  
 一とす一とす一とす一とす一とす一とす一とす

小角よりて法にて商の二を法より二とす  
 法は二とす商の二を法にて二の四と法よ  
 をき又あるは商の二を法にて二の四と  
 一とす一とす一とす一とす一とす一とす

此新編塵劫記 吉田光由 開板鏤梓  
 以壽其傳自今以後行于世為算法  
 指南者如合符節後生勉旃勿輕忽  
 于時寬永第四曆龍集疆格單關  
 仲德好目辰西嶺舜岳野辨玄光  
 以助